

第二十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第二號

明治四十三年一月二十二日(土曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第二號 明治四十三年一月二十二日

午前十時開議

第一 公爵毛利元昭君、侯爵中山孝麿君、男爵岩村通俊君、男爵伊達宗敦君、西村亮吉君、堀基君、堀真五郎君、清瀬善三君、櫻木嘉右衛門君請暇ノ件

第二 電氣測定法案(政府提出)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 著作權法中改正法律案(政府提出)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

明治四十二年十二月二十五日本院ハ同年同月二十六日ヨリ明治四十三年一月二十日迄休會スルコトニ定メタル旨ヲ政府及衆議院ニ通知セリ

同年同月同日衆議院ヨリ同院ハ明治四十二年十二月二十七日ヨリ明治四十三年一月二十日迄休會スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同年同月二十八日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

政府委員

統監府參與官 石塚英藏君

統監府司法廳長官法學博士 倉富勇三郎君

統監府通信管理局長 池田十三郎君

統監府書記官伯爵 兒玉秀雄君

明治四十三年一月十九日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

電氣測定法案

著作權法中改正法律案

同年同月二十一日政府ヨリ左ノ決算及検査報告ヲ提出セリ

明治四十年年度歳入歳出總決算

明治四十年年度各特別會計歳入歳出決算

明治四十年年度歳入歳出決算検査報告

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、内閣總理大臣桂侯爵

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 諸君、昨年此席ニ於キマシテ諸君ト相見エマシテ以來茲ニ一年デゴザリマス、本日再ビ諸君ニ向ヒ施政ノ方針ニ付キマシテ政府ノ所見ヲ陳述イタシマスルノハ、本大臣ノ最モ光榮トスル所デゴザリマス、帝國ト締盟各國トノ交際ハ愈々親厚デゴザリマシテ、就中英國トノ同盟ハ益々鞏固ヲ加ヘマシタルノハ、本大臣ノ諸君ト共ニ深ク欣ブ所デゴザリマス、前年來日清兩帝國ノ間ニ懸案ト相成ッテ居リマシタ滿洲ニ關スル諸問題ニ付キマシテハ、帝國政府ハ善鄰ノ交誼ヲ重シマシテ交讓妥協ノ誠意ヲ以テ之ガ解決ニ努メマシタル所、清國モ亦帝國ノ誠意ノ在ル所ヲ諒ト致シマシテ、遂ニ昨年九月、日清協約ヲ決定イタスコトニ相成リマシテ、數年ニ互リマシタル問題モ茲ニ結了ヲ告グルニ至リマシタルデゴザリマス、帝國ハ從來滿洲ニ於キマシテ門戸開放機會均等ノ主義ヲ尊重イタシ諸般ノ經營上、其履行ニ付キマシテ遺憾ナキヲ期シマシタモノデゴザイマシテ、其誠意ハ列國ノ齊シク認ムル所ト信ジマス、韓國ニ對シマスル帝國ノ關係ハ韓國銀行ノ設立、司法監獄事務ノ委託、軍部ノ廢止等ノ實行ニ於キマシテ益々密接ヲ加ヘ、帝國ノ保護政策ヲ確實ニスルコトヲ得マシタ、現行ノ條約ノ有效期間モ最早來年ニ迫リマシタルヲ以チマシテ政府ハ之ガ改正ニ著手スルノ準備ヲ怠リマセズ、而シテ之ガ爲ニ現行關稅定率法ヲ改正スルノ必要ヲ認メマシテ、其改正法案ヲ常議會ニ提出イタシマシタ、帝國ノ財政ニ關シマシテハ昨年諸君ノ御協賛ヲ經マシテ成立イタシマシタル豫算ノ實施ニ入リマシタ以來、僅ニ半歲ヲ過ギマシタノデゴザイマスルケレドモ、幸ニ財政ノ方針ノ確立ハ漸次内外ノ信用ヲ恢復スルノ效果ヲ示シマシタ、政府ハ來年度ニ於キマシテモ固ク既定ノ方針ヲ維持イタシマシテ以テ戰後ノ財政整理ヲ完カラシメムコトヲ期シテ居リマス、既定ノ皇室費ハ二十年前ノ制定ニ係リマシタモノデアリマシテ、今日

之ヲ増加イタシマスルハ最モ適當ノコト、信ジマス、税法ニ付キマシテハ其偏重偏輕ヲ矯メマシテ負擔ノ均衡ヲ圖ルヲ目的ト致シマシテ調査イタシマシタル結果、最モ急務ト認メマスルモノニ付キマシテ、其整理ノ案ヲ立テマシテ之ニ關スル各種ノ法律案ヲ提出イタシマシタ、又物價ノ騰貴、貨幣法ノ改正等ニ促ガサレマシテ、多年ノ問題デゴザイマシタ官吏ノ増俸モ亦實ニ已ムヲ得ザルモノト認メマシタ、前年度剩餘金中急要已ムヲ得ザル經費ノ財源ニ充テマスルモノヲ除キマシテ其殘額ヲ國債償還ニ充ツル爲ニ之ヲ國債整理基金ニ臨時繰入ヲ致シマシテ以テ益、國債整理ノ實效ヲ舉グルコトヲ期シマシタ、其他産業ノ發達、教育上ノ施設、運輸交通機關ノ整理等、苟モ國力ノ發展ニ資スルモノニ付キマシテハ、財源ノ許ス範圍内ニ於キマシテ之ガ實行ヲ努メマシタ、右ノ方針ニ依リマシテ編製ヲ致シマシタル豫算案ハ既ニ議會ニ提出ヲ致シマシタ、諸君幸ニ此趣旨ヲ領セラレマシテ速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ本大臣ハ切ニ希望ヲ致ス所デゴザイマス

○伯爵大木遠吉君 私ハ今ノ總理大臣ノ御演說ニ對シテ、トクト腑ニ落チナイ點モアリマスカラ此際質問ヲ致シタイト思ヒマス、總理大臣ハ此急務中ノ急務デアル税制ノ整理均衡ヲ得マスル爲ニ諸般ノ設備ヲサレタト言ハレルガ、其中ニ地租ノコトニハ一言モ言及シテ居ナイヤウニ信ズルノデアル、何故ニ之ガ急務中ノ急務デナイノカ、官吏ノ増俸ノ如キハ急務デ地租ノ減租ハ急務デナイト云フ理窟ハ無イ、本員ニハ分ラナイ、ドウ云フ譯デ今、總理大臣ハ地租ノ減租ノコトニ就イテ御演說ニナラナイカ、ソレヲ此席ニ於テ御說明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 唯今大木伯爵カラ御質問ニナリマシタコトニ對シテ御答ヲ致シマス、其如何ナルモノガ急務デアルカ無イカト云フコトハ本官ハ唯今演說ヲ致シマシタノガ急務デアルト信ジテ經畫ヲ致シタ、但シ地租ノコトモ固ヨリ其必要ナルモノデアルト云フコトハ本官ハ信ジテ居ル、但シ一時ニ之ヲ經畫スルト云フコトハ財政ノ上ニ於テ許サヌ所デアルカラ、本年ハ即チ唯今本官ガ演說ヲ致シマシタ所ノ經畫ヲ以テ提出イタシタ次第デゴザイマス、此段御諒承クダサイ

○伯爵大木遠吉君 私ハ尚ホ一言念ノ爲ニ總理大臣ニ親シク述べラレムコトヲ希望スルノハ、官吏増俸ハ地租ヨリモ急務デアルト御認メニナッテ居ルノカ

否ヤ、今ノ御說明ニ依ルト官吏増俸ガ地租ノ減租ヨリモ急務デアルト言ハレルヤウニ解釋セザルヲ得ナイノデアリマスガ、一言其點ヲ明ニ御明言ヲ願ヒタイ

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 是ハ大木伯爵ノ意見ト本官ノ意見ト異ナル所デアリマス、幾ラ御說明ヲ致シマシテモ、大木伯爵ハ御解釋ガ出來ヌデヤラウト思ヒマス、此段御諒承クダサレタイ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、公爵毛利元昭君、侯爵中山孝麿君、男爵岩村通俊君、男爵伊達宗敦君、西村亮吉君、堀基君、堀眞五郎君、清瀬善三君、櫻木嘉右衛門君請暇ノ件、公爵毛利元昭君ハ病氣ニ付キ二月十一日マデ二十一日間、侯爵中山孝麿君ハ病氣ニ付キ會期中、男爵岩村通俊君ハ病氣ニ付キ會期中、男爵伊達宗敦君ハ病氣ニ付キ二月二十三日マデ三十三日間、西村亮吉君ハ病氣ニ付キ二月三日マデ十三日間、堀基君ハ病氣ニ付キ二月八日マデ十八日間、堀眞五郎君ハ病氣ニ付キ會期中、清瀬善三君ハ病氣ニ付キ二月十一日マデ二十一日間、櫻木嘉右衛門君ハ病氣ニ付キ二月五日マデ十五日間ノ請暇デアリマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、電氣測定法案、政府提出、第一讀會
〔東久世書記官朗讀〕

電氣測定法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十三年一月十九日

内閣總理大臣侯爵桂 太郎

遞信 大臣男爵後藤新平

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
電氣測定法

第一條 電氣ノ測定ニ於テハ電氣抵抗ハ「オーム」、電流ハ「アムペア」、電壓ハ「ヴォルト」、電力ハ「ワット」ヲ以テ單位トス

第二條 「オーム」ハ氷ノ融解溫度ニ於テ質量一四、四五二「グラム」長サ一〇六、三〇〇「センチメートル」ニシテ均一ナル切斷面積ヲ有スル水銀柱ノ不變電流ニ對スル電氣抵抗ヲ謂フ

第三條 「アムペア」ハ硝酸銀ノ水溶液ヲ通過シ毎秒〇、〇〇一一一八〇〇「グラム」ノ銀ヲ分離スル不變電流ヲ謂フ

第四條 「ヴォルト」ハ「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ニ「アムペア」ノ不變電流ヲ發生セシムル爲要スル不變電壓ヲ謂フ

第五條 「ワット」ハ「ヴォルト」ノ電壓ニ於テ「アムペア」ノ不變電流ニ依リ毎秒費サル電氣勢力ヲ以テ表示スル電力ヲ謂フ

第六條 本法ニ依ル電氣單位ハ主務官廳ニ保管スル標準器ニ依リ之ヲ現示ス

第七條 電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ハ檢定ヲ受クヘシ

電氣計器ノ公差及檢定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル電氣計器ヲ電氣ノ取引ニ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 檢定ヲ受ケサルモノ

二 檢定ニ合格セサルモノ

三 檢定ノ效力ヲ失ヒタルモノ

第九條 電氣ノ取引ニ於テ其ノ計量ヲ詐ルノ目的ヲ以テ不正ニ電氣計器ヲ使用シタル者ハ罰前條ニ同シ

第十條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第十一條 電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱、不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流電壓及電力ノ計算方法並第一條ニ掲ケタル以外ノ電氣單位ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

附則
本法ハ第七條及第八條ヲ除クノ外明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
第七條及第八條ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第七條及第八條施行前ヨリ引續キ電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ニ付テハ

別ニ勅令ヲ以テ定ムル期間第八條ノ規定ヲ適用セス
第七條及第八條施行前ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ主務官廳ノ試験ニ合格シタル電氣計器ハ本法ノ檢定ニ合格シタルモノト看做ス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 電氣測定法ヲ提出イタシタル理由ヲ一應申上ゲマス、本案ハ電氣單位ヲ定メマシテ電氣測定ノ正確ヲ期スルニ在ルノデアリマスガ、抑、電氣單位ノ問題ニ付キマシテ、本邦ハ勿論各國間ニ交渉セラレマシテ本邦モ夙ニ此交渉ヲ受ケテアツタノデアリマスルガ、千八百六十一年ノ英國ニ於テ開催イタシマシタ電氣單位ノ會議ヲ始メト致シマシテ其後、英米獨佛等ノ諸國ニ於テ重ネテ此會議ヲ開キ、遂ニ千九百八年、今ヨリ三年前ニ於キマシテ我が帝國ヨリモ委員ヲ派遣シマシテ英國ニ於テ開催セラレマシタ萬國電氣單位ノ會、之ニ於テ萬國共通ノ電氣單位ノ決議ヲ爲スニ至リマシタノデアリマス、而シテ我が帝國ニ於キマシテモ電氣事業ハ日々ニ進歩イタシマシテ、其利用ノ範圍ヲ増加イタシテ居ルコトハ既ニ辯ラ俟タスコトデアリマス、此間ニ於テ電氣測定ニ關シマスル所ノ法制ハ一モ存セザルガ故ニ其取引上ニ於キマシテ正確ヲ保スルコト能ハザルノ憾アル次第デアリマス、ソレユエ此前ノ萬國會議ニ於キマシテ決定シマシタル所ノ電氣單位ニ基キマシテ茲ニ電氣測定法案ヲ定メテ此缺ヲ補ハウト云フコトノ必要ニ迫ツテ居ル次第デアリマス、以上述べタル所ガ本案ヲ提出イタシマシタ理由デアリマス、御審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

〔男爵高木兼寛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 高木男爵ハ……

○男爵高木兼寛君 我ハ特別委員ノ選舉ニ付キマシテ一ノ動議ヲ提出イタシタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵高木兼寛君 特別委員ノ選舉ハ大體ニ於テ是マデ議長ニ御願ヒ致スコトニナツテ居ルデアリマス、昨年モ其通りデゴザイマシタ、ソレユエ本年モ又候御願ヒ申シタイ、付イテハ左ノ意味ヲ以テ御願ヒ申上ゲタイ望デゴザイ

マス、特別委員ノ選舉ハ特ニ議員ヨリ申立テザル場合ハ總テ議長ニ委任スルノ意ヲ以テ昨年通り議長ニ御願ヒ申上ゲタイノデゴザイマス、何卒滿場諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 高木男ニ確メマスガ、高木男爵ノ動議ハ此會期中總テノ特別委員ノ意味ト議長ハ伺ッテ宜シウゴザイマスカ

○男爵高木兼寛君 左様デゴザイマス

〔伯爵大原重朝君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 大原伯爵ハ何デスカ

○伯爵大原重朝君 賛成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 高木男爵ノ唯今ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、著作權法中改正法律案、政府提出、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

著作權法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十三年一月十九日

内閣總理大臣侯爵桂 太郎

内務大臣^{法學博士}男爵平田東助

著作權法中改正法律案

著作權法中左ノ通改正ス

第一條中「圖畫」ノ次ニ「建築」ヲ加フ

第十一條中「及定期刊行物」及「政事上ノ論說若ハ」ヲ削ル

第十五條 著作權ノ相續讓渡及質入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以

テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第二十條中「及定期刊行物」ヲ削リ「小説」ノ次ニ「及文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物」ヲ加フ

第二十一條 翻譯者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著作者ノ

權利ハ之カ爲ニ妨ケラルルコトナシ

第三十二條ノ二 活動寫眞術ニ依リ他人ノ著作物ヲ複製シ又ハ興行スル者ハ偽作者ト看做ス

第三十九條及第四十二條中「十圓以上」ヲ削ル

第四十一條中「二十圓以上」ヲ削ル

第五十二條ヲ削ル

〔國務大臣男爵平田東助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵平田東助君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一言申述ベテ置キタイト思ヒマス、現行ノ著作權法ハ御承知モゴザイマスル通り明治三十二年ニ於テ我邦ガ改正ノ條約ヲ實施イタシマスル時ニ當リ、著作權ノ保護同盟ニ加入イタシマシタ其際ニ於テ制定イタサレタ所ノ法律デゴザイマス、然ルニ一昨四十一年十月ニ於テ獨逸ニ於テ著作權保護ニ關スル萬國會議ガ開カレマシタ、此會議ニ於キマシテ我ガ政府ヨリモ代表者ガ出マシタノデゴザイマスルガ、若干ノ修正ガ會議ノ決議ニ上ボリマシテ決セラレタ次第デゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマスルニ依ッテ之ニ基キマシテ且又我邦ノ現狀ノ上ニ鑑ミテ茲ニ多少ノ修正ヲ加フルヲ必要ト信ジマシタ次第本案ヲ提出イタシマシタノデゴザイマス、著作權ノ保護同盟ニ於キマシテハ今更ニ縷々申上ゲルマデモナイノデゴザイマスガ、文明諸國ガ共同イタシ學術及美術ノ進歩ノ爲ニ其製作物ヲ保護イタスガ爲ニ起ル所ノ同盟條約デゴザイマスルガ、斯様ナ次第アリ此大勢ニ伴ヒマシテ我邦ニ於テモ此同盟ニ加入スルト云フコトハ今日ノ時勢ニ於テ已ムベカラザル次第アリマス、サリナガラ此同盟ニ加入イタシマスルガ爲ニ又我ニ於テモ多少ノ不利益ハ勢ヒ免レザル所ナノデゴザイマス、即チ彼ノ翻譯ノ如キコトニ於キマシテハ今回ノ萬國會議ニ於キマシテ從來ノ如キ或ル一定ノ年限ノ間ニ於テ著作權ヲ保護スル所ノ制度ヲ定メテ著作者ニ向ッテ翻譯上ノ權ヲ尙ホ寛大ナル範圍ニ於テ權利ヲ與ヘヤウト云フコトニ議決セラレタノデゴザイマス、是ハ學術及美術ノ進歩ヲ獎勵スルガ爲ニハ理論ト致シテハ誠ニ必要ナコトデゴザイマスルケレドモ、我邦ノ現

時ノ狀態、今ヤ進歩發達ノ此時ニ於テ不利益タルコトハ勢ヒ免レナイ次第デ
ゴザイマス、依ッテ之ヲ遡ッテ元ニ戻スト云フコトハ、前來ノ條約ノアルコ
トデゴザイマスルカラ出來能ハヌコトデゴザイマスルガ、少ナクモ現時ノ狀
態ノ上ニ之ヲ存シテ置キタイト云フ考ヘヲ以テマシテ我が政府ノ代表者ハ之
ニ向ッテ留保イタシテアッタノデゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマスルガ、
尙ホ其他ニ於キマシテ本會ノ會議ニ依ッテ定マッタ所ノ決議ニ基キマシテ、
我が政府ニ於テ容レ得ベキ所ノ點ニ向ッテハ修正ヲ加フル必要ヲ認メマシタ
ノデ、即チ茲ニ本案ヲ提出イタシマシテ、諸君ノ御協賛ヲ求ムル次第デゴザ
イマス、斯様ナ次第デゴザイマスルデ、ドウカ御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラ
レムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ議事日程第五ニ移ルベキ筈デアリマスガ、
高木男爵ノ先刻ノ動議ガ可決セラレマシタ結果、議事日程第五ハ自然削除ス
ベキモノト考ヘマス、御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ヲ致シ
マスガ、此際議長ヨリ諸君ニ一言申上ゲテ置キタイコトガアリマス、是マデ
議案ノ政府ヨリ提出ノ無イトキニハ自然ニ付託セラレタ法律案ノ特別委員會
モ政府提出ノ議案ノ有ルトキマデ延期サレル慣例ニナッテ居ルヤウニ考ヘマ
スガ、何卒本日ノ二案トモ速ニ正副委員長ノ互選ヲ行ハレムコトヲ希望イタ
シマス、是ヨリ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

電氣測定法案特別委員

伯爵柳原 義光君 子爵前田 利定君 子爵水野 直君

淺田 德則君 山川 健次郎君 男爵安場 末喜君

中島 永元君 古市 公威君 澤原 俊雄君

著作權法中改正法律案特別委員

伯爵大木 遠吉君 子爵加納 久宜君 子爵稻垣 太祥君

男爵辻 新次君 江木 千之君 男爵金子 有卿君

伊澤 修二君 鎌田 榮吉君 市川 文藏君

○議長(公爵德川家達君) 本日ハ是デ散會ヲ致シマス
午前十時三十三分散會